

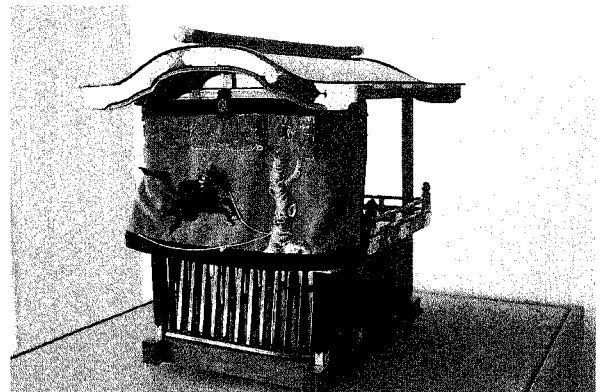
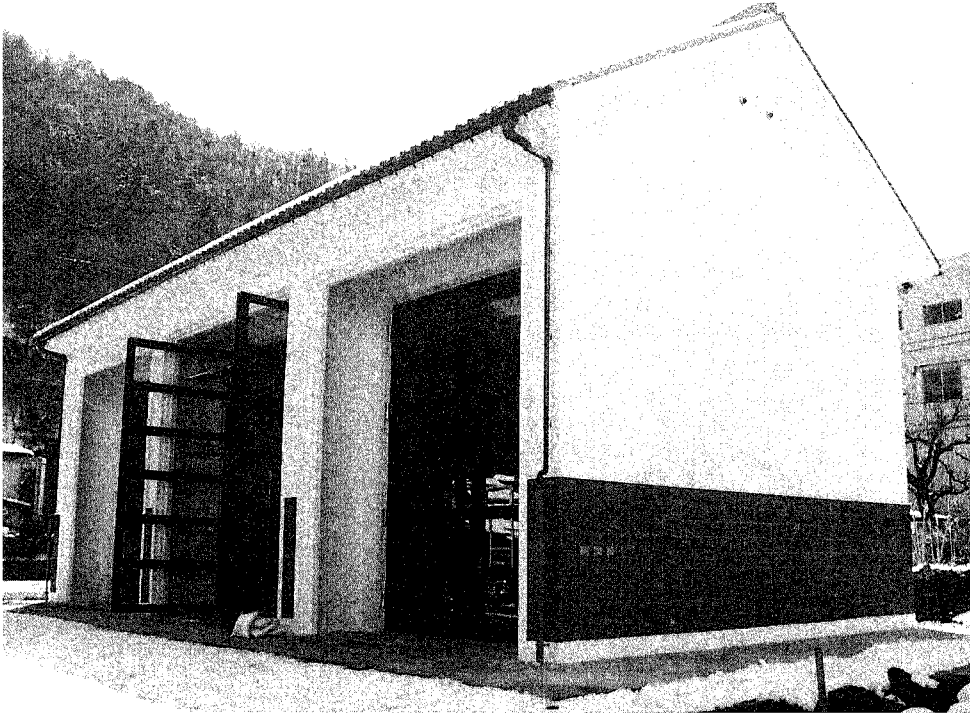
市民に親しまれる博物館をめざして（7）

郷土を学び、市民に親しまれる博物館づくりを目指して構想検討を進めています。今回は博物館構想の一環として、昨年七月から建設を進めてきました八朔祭屋台

展示庫が完成しましたので、紹介します。

建設場所

博物館建設が予定されている新



町用地は、城下町であった谷村町の中心街である上谷二丁目地内にあり、周辺には勝山城址、谷村城址などの史跡や、由緒ある寺社が集中するなど、環境としては最適の地です。

この新町用地の国道側に建設された白壁の建物が、八朔祭屋台展示庫です。

建物の特色

RC造平屋建て、瓦葺き白壁の土蔵をイメージしたデザインで、国道を挟んで反対側に建つ土蔵造りの商家資料館と相まって、歴史的な雰囲気を出し出すゾーンが形成されました。

本展示庫は、屋台の保管場所であると共に、展示場所でもあります。そのため、外側から庫内の屋台が見学できるように、大きなガ

ラス戸を設置しました。

建物の規模

先月号の広報でご紹介したとおり、八朔祭屋台は本博物館を特色づけるものです。

博物館内には豪華な飾幕で彩った屋台を一台展示し、他の屋台は、展示庫に収蔵するという構想に基づき、建物の規模は、間口二十メートル、奥行き八メートルで、屋台三台を収蔵できるスペースとなっています。

展示庫を特色づけるかんのん開きのガラス戸は三基設けられ、各々間口五・五メートル、高さ六・一メートルの開戸で、七ミリの強化ガラスが取り付けられています。

建物の構造

八朔祭屋台は、高山祭屋台保存技術組合で本格的な漆塗りによる復元が行われました。

展示庫では館内の急激な温度・湿度の変化を防ぐために、建物の地下に一・八メートルの深さの地下空気槽を設け、外気をここで溜めて、館内を循環させる構造を取っています。

また、展示庫内は、コンクリート外壁との間に空気層を形成するために板壁となっています。

八朔祭屋台展示庫に続きまして、本年は本体の博物館の建設に向けた取り組みに着手します。

市民の皆様のご意見をお寄せください。

文化振興係

特別養護老人ホーム「よこぶき荘」が10月1日川茂の高台にオープンします。

平成6年1月策定した都留市老人保健福祉計画に計画されていた社会福祉法人の設立する施設が下記のとおり建設され10月1日にオープンします。

特別養護老人ホーム	定員50人	市の委託事業
ショートステイ（短期入所）	定員20人	
デイサービスセンター（送迎）	定員15人	
在宅介護支援センター		

職・員・募・集

この施設で働くスタッフを募集しています。希望者は3月20日までに下記に履歴書を送付してください。

連絡先 都留市川茂328-4
社会福祉法人「敬寿会」
特別養護老人ホーム「よこぶき荘」